

つながり



迅速・適切な受け入れで
重症患者の命を救う

1-2p ▶ 救命救急センター・救急外来のご紹介

部門紹介／設備のご紹介	3p
部門紹介／TOPICS	4p
管理栄養士のおすすめメニュー／ 我が病院のボランティアさん	5p
総合医療支援センターからのお知らせ	6p
地域の医療機関のご紹介	7p

ご自由にお取り
ください

救命救急センター・救急外来の

ご紹介

高度な救急体制を実現し
県北各地からの
救急搬送に対応しています



本院看護部救急外来

三浦 真紀 看護師
救急外来看護師長



救命救急センター

やまのうち
山内 聡 医師
救命救急センター長

「細やかな情報を

入手して、重症な

患者に対応する」

救命救急センターに

は、現在救急科専門医師

6名、看護師27名が在籍

しています。「当院の救

命救急センターでは、命

に関わる重症患者さんの

受け入れや、地域の事情

で夜間の受け入れが必要

な患者さんの搬送にも対

応しています。」と、山

内医師は話します。また

「看護師は救急医と相談

しながら救急車からの情

報をもとに適切な受け入

れ準備を行っています」

と話す三浦看護師。一刻

を争う医療現場では、最

適な受け入れ体制をス

ピーディーに整えるため

の情報収集が綿密に行わ
れています。

「ネットワークを

活かした

救急医療体制」

「現在、大崎圏内の救

急車は伝送システムを導

入しており、救急車から

医療機関へリアルタイム

に心電図・血圧・脈拍な

どのデータが送れるため

患者さんの到着前から専

門医による診断が可能と

なり、治療開始までの時

間が短縮されています。

これは大崎消防と仙南消

防のみで稼働している画

期的な体制で、より最適

な受け入れ準備に役立つ

ています」と語る三浦看

護師。

また山内医師は「当院

24時間の検査体制や血管内治療が可能

の救命救急センターは、24時間検査や画像診断、血管内治療ができる、県北では少ない医療施設です。全科オンコール体制（緊急呼び出しができる体制）で、必要な時には各診療科専門医からのバックアップも受けることもあります。」と大崎市民病院の特出すべき救急体制を話します。今秋からはドクターヘリの受け入れも始まり、果たすべき役割はますます広がりを見せています。



宮城県北の救命救急の拠点としてその役割を果たしています

医師や救急隊と連携し適切な受け入れ準備をサポートしています



「日中早めの

医療機関受診で

適正利用に協力を」

ここ数年、搬送される年間件数は驚くほど増加傾向にあります。中には、緊急とは言いがたい夜間利用の場合もあり、日中に早めの受診をしていただければ、状態が落ち着いていたのでは、というケースもあるそうです。「救命救急センターが

パンクしないよう、医師と患者さん双方が理解を深め協力しながら、尊い命を守っていききたいです。大崎市には、準夜間帯の19時～22時に受診できる「夜間急患センター」が開設されています。歩いて行ける状態の場合には、まずはそちらを利用してみてください。もちろん、夜間急患センターの医師の判断で必要な場合は当院への紹介があります。」と山内医師は話します。

日頃から、医療情報の収集と、早めのケアを受ける心掛けは、自らのリスクを減らすとともに、地域全体のリスクを減らすことにも通じると言えます。

＋ 当院の受診について

当院の受診には、お近くの保険医療機関からの紹介状と事前の診察予約が必要です。

小児科の受診には、予約は不要ですが、できる限り紹介状をお持ちください。

各種検診結果をお持ちの方のうち、精密検査が必要と判定された方で当院を受診希望される方は、予約センター（0120-003-934）までお問合わせください。

担当医

救命救急科

山内 聡	(救命救急センター長兼救急診療科科長)
松村 隆志	(医員)
橋本 克彦	(医員)
発田 万里子	(医員)
大杉 真也	(医員 (救急診療科専攻))
遊佐 優	(医員 (救急診療科専攻))

部門紹介



患者さんの病気が快方に向かうように、院内ではたくさん職員が働いています。その様子を紹介します。

「救急病棟」

救急病棟は、E I C U 12床（E I C U 8床、C C U 4床）、H C U 18床、計30床の病床があります。

県北各地から救命救急センターに搬送された患者さんや大きな手術をしたり、入院中に容体が重症化した患者さんが集中的な治療を受けるために入室します。

私たちは、日々入室される重症患者さんの生命をつなぐべく、さまざまな職種と連携し、チームワークを高めながら、高度専門医療を実践しています。

また、緊急入院により危機的な心理状態にある患者さんとご家族の心のケアにも力を入れています。

今後も安心、安全な医療を提供できるよう、チーム一丸となって取り組んでいきます。

不安なことや疑問に思うことなどありましたら、ご相談ください。

設備のご紹介

E I C U ・ C C U ・ H C U ・ I C U

E I C U（Emergency Intensive Care Unit：救命救急室専用の集中治療室）は、I C U（Intensive Care Unit：集中治療室）とは違い、救命救急センターに搬送された患者さん専用の集中治療室です。

C C U（Coronary Care Unit:冠動脈疾患治療室）は、心筋梗塞・狭心症など循環器系の治療用集中治療室です。

H C U（High Care Unit:準集中治療室）は、I C Uよりは軽症の患者さんが入る入院治療室です。

どの治療室も重篤な急性機能不全の患者さんの容体を24時間体制で管理し、密度の高い集中的な医療や看護を専門に行うための部屋になります。



集中ケア認定看護師
鈴木 昭子



E I C U

H C U

部門紹介

「救急外来」



当救命救急センターは大崎・栗原医療圏の三次救急医療を担い、小児から高齢者まで、あらゆる疾患の看護が必要とされる部署です。心肺停止、多発外傷、脳血管障害、虚血性心疾患など重篤な患者さんの対応が要求されます。

救急外来はMRIやCT室、血管造影撮影室が隣接された配置であり、受診した患者さんが緊急の脳血管撮影や心臓カテーテル治療が必要となる場合には、24時間対応できる体制が整っています。

また、他職種とのシミュレーションを実施し、チームが円滑に機能するように訓練をしています。

今年度は、専門的な知識や技術を習得するために「救急看護認定看護師」を目指して勉強している看護師もいます。私たちは不安を抱えた患者さんやそのご家族に寄り添い、安心できる看護を医師と協力しながら行っています。

TOPICS ~ヘリポート~

病院ヘリポートは、原則的に緊急重篤患者さんを病院へ搬送することを目的としています。

ヘリポートの設置対象病院とは、災害拠点となり得る病院や比較的多くの病床を抱える大学病院等で、救急医療において高度な機能を持つ病院などです。当院での年間受入れ回数は、2～6回程度となっています。

今秋から当院は、宮城県ドクターヘリを導入します。その中で当院の役割は、救命救急センターと同様に、大崎・栗原医療圏における3次救急医療の受入れを担うこととなるため、今後はヘリポートの利用が増えると予想されます。



救急隊からの受入れ要請の様子



宮城県では、栄養・食生活の改善として減塩対策を進めています。みなさんぜひ参考にしてください。

当院管理栄養士のおすすめ

塩工コミュニティ

季節の献立 ～夏～

●鶏胸肉のカレーソテーの作り方

145kcal・塩分0.8g(1人分)

- ① 鶏胸肉(60g)はそぎ切りし、溶き卵(10g)、カレー粉(0.8g)、おろしにんにく(1g)、しょうゆ(3g)をもみ込み30分ほど漬ける。
- ② ①に塩こしょう(0.3g)をして、片栗粉をまぶしてソテーする。
- ③ レタスと赤パプリカを添える。

👉ポイント

・下味をつけることでしっかりした味を楽しめます。カレー粉は減塩におすすめです。

●ナスとミョウガの味噌炒めの作り方

69kcal・塩分0.7g(1人分)

- ① ナス(70g)とミョウガ(15g)は薄切りにする。
- ② ナスを炒め、ナスに火が通ったらミョウガを加える。
- ③ 合わせ調味料(みそ5g、みりん4g、砂糖2g)を加える。

👉ポイント

・ミョウガの風味を生かすことで薄味でもおいしく召し上がれます。



1食分合計：538Kcal・塩分1.7g

●ごはん(150g) / 252kcal

●トマトのさっぱりサラダの作り方

51kcal・塩分0.2g(1人分)

- ① トマト(70g)はスライスする。
- ② タマネギ(20g)はみじん切りにし水にさらす。
- ③ 合わせ調味料(オリーブオイル3g、酢5g、塩こしょう0.3g)に②を加えドレッシングを作る。
- ④ トマトに③をかけ、カイワレ大根を添える。

👉ポイント

・タマネギは水にさらすことで辛みがとれます。オリーブオイルをゴマ油に代えると中華風ドレッシングとして使用できます。

●キウイフルーツ(40g) / 21kcal(1人分)

担当管理栄養士：越前佳恵・千葉智子



ボランティア活動をして日が浅いのですが、患者さんからの「ありがとう」の言葉が励みになっており、今後も続けていこうと思っています。

吉岡 幸子 さん(ボランティア歴2年)

「ボランティアとして今できることに心を添えて」をモットーにしております。

「ありがとう」「お世話さま」などの言葉に勇気づけられ、少しばかりのお手伝いができることをうれしく思います。

戸塚 政子 さん(ボランティア歴2年)



こんなときは、私たちボランティアに声をかけてください

- ・受付の仕方が分からない時
- ・院内の場所が分からない時
- ・車いすでの移動のお手伝いが欲しい時

…など

我が病院の

ボランティアさん



◎病院ボランティアさん大募集◎

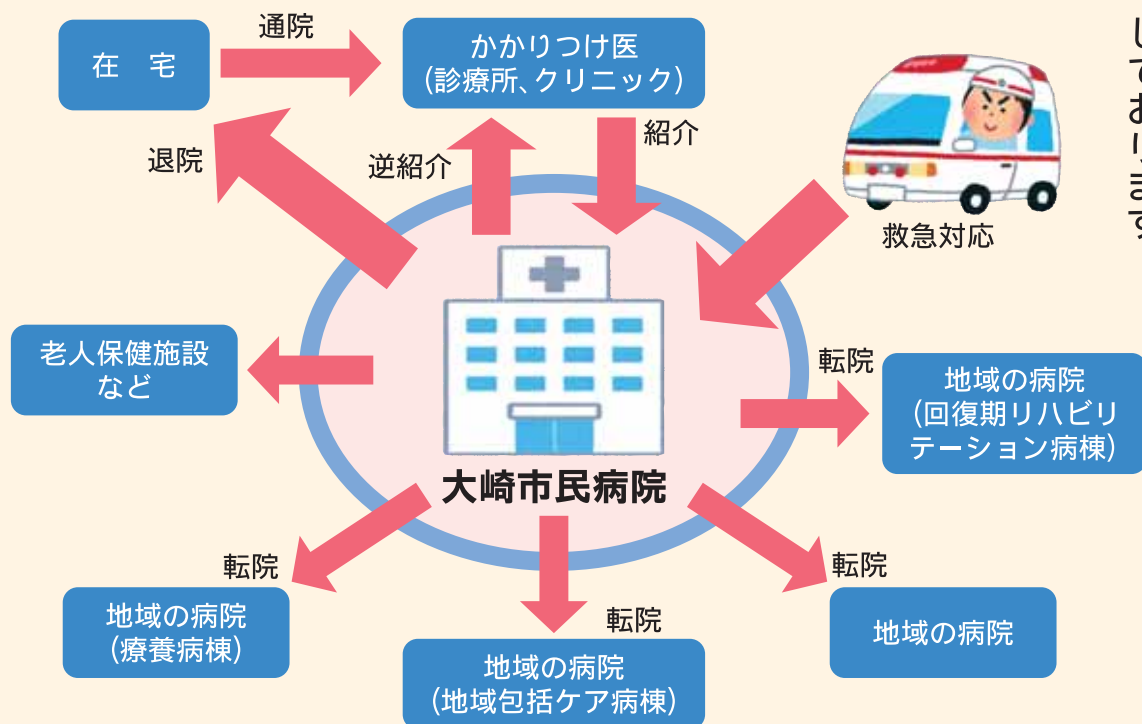
活動内容 一例：病院内の案内・新患受付の手伝い、車いす移送補助、小児科病棟患者支援、ロビーコンサートなどの手伝い ほか

➡お気軽にお問い合わせください ㊟ 総務課総務係 TEL：0229-23-3311

総合医療支援センターだより vol.6

制度や医療費の心配事など、お気軽にご相談ください。

大崎市民病院は、地域の医療機関と連携して医療を提供しています。



急性期医療を担う県北の基幹病院として、
当院の役割を果たせるよう患者さん及びご
家族の皆さんにはご理解とご協力をお願い
しております。

当院では、入院前より患者さんに関わり安心して退院・転院などができるように**退院支援**をしています。患者さんが病気や障害があってもどこで療養するか、どのような生活を送るのかを自ら決定する支援を医師、看護師、薬剤師、相談員（医療ソーシャルワーカー）、理学療法士、栄養士など多職種で関わりお手伝いをいたします。



退院調整看護師
浅野 留美子

平成27年5月より退院調整看護師の仕事をしていただいております。

患者さん、ご家族の方の意向に沿った療養の場を選択いただき、地域の関係者にご支援いただきながら、外来通院中、入院中に関わらず、継続した生活をするお手伝いをしております。

これからも、在宅療養される方や、病状により転院を選択される方の支援に尽力していきたく思いますので、どうぞよろしく申し上げます。

地域の医療機関のご紹介

当院は、身近な医療機関と役割分担を図り、地域全体で切れ目のない医療を提供することを目指しています。こちらでは、日々当院と交流のある登録医療機関(かかりつけ医)をご紹介します。

渡辺外科胃腸科医院

診療科目：

外科、胃腸科、皮膚科、肛門科、泌尿器科、整形外科

〒989-4103

大崎市鹿島台平渡字巳待田430-1

TEL:0229-56-5211

受付時間：

午前8時30分～正午

午後2時～午後5時30分

	月	火	水	木	金	土	日
午前	○	○	○	○	○	○	-
午後	○	○	○	○	○	-	-

●院長 渡辺 麟也 先生



地域のみなさんへ

地域の方々のおかげさまで、当院は本年9月10日に開業35周年を迎えようとしております。「自分の身体は自分で守るのであって、私たちはそのお手伝いをしているだけです」という言葉をモットーにして、日々患者さんにお話しし、病気や症状に合わせて投薬、食事、運動等についてのアドバイスをしております。

当院は外科、胃腸科を中心に他の診療科目も診てまいりましたが、これからも地域に密着して何事も気軽に相談を受けたり、診察をしながら信頼の置ける家族医として生涯現役を目指していく所存ですのでよろしくお願いいたします。



●院長 三浦 正悦 先生

穂波の郷クリニック

診療科目：

内科、循環器内科、呼吸器内科

〒989-6136

宮城県大崎市古川穂波六丁目30番12号

TEL:0229-24-3880

URL:<http://www.kokoronosato.net/>

受付時間：

午前8時30分～正午

午後3時～午後5時30分

	月	火	水	木	金	土	日
午前	○	○	○	○	○	○	-
午後	○	-	○	-	○	-	-

地域のみなさんへ

穂波の郷クリニックは地域緩和ケアを実践するクリニックとして11年前に開設しました。外来診療と24時間対応の在宅緩和ケア、訪問診療・訪問看護を行っています。緩和ケア支援センターはるかを併設し、トータルヘルスプランナーや緩和ケアコーディネーター、介護支援専門員、リハビリ専門職を配置し、地域の皆さまの貴重なご支援をいただきながら、病に苦しむ人の心のケアや生活リハビリ、人生を豊かにするさまざまなプログラムをご用意して、“生きる”を支える支援もしております。緩和ケア支援センターはるかの相談窓口は0229-24-2883です。どうぞお気軽にご相談下さい。

つながり

大崎市民病院広報誌「つながり」No.6
2016年7月発行
一次発行は2016年10月の予定です

大崎市民病院

大崎市民病院

検索

〒989-6183 宮城県大崎市古川穂波三丁目8番1号

TEL 0229-23-3311 FAX 0229-23-5380 URL <http://h-osaki.jp>